

銀行名	横浜銀行		
タイトル	事業性評価にかかる取組み		
取組み内容	【取組内容】		
	(1) 取引先の事業内容や成長可能性などを評価し、地域中核企業および成長企業などに対し、重点的にコンサルティングを実施することで、地元企業の企業価値向上を支援していくため、これらの取組み状況の把握等を通じた態勢の整備・強化や実効性向上に資する対応を協議する機関として、平成 27 年 5 月に「企業価値向上支援推進委員会」を設置した。		
	(2) 当行の事業性評価に関する研修・勉強会の開催状況		
	時期	概要	出席
	平成26年12月	本部内で「事業価値算出方法（DCF法）」に関する勉強会を実施	本部行員47名
	平成27年1～3月	法人渉外担当者を対象として、外部講師を招聘し、事業性評価に関するゼミナール実施	営業店中堅行員(指名20名)および本部行員(募集10名)の計30名
	平成27年2月	事業性評価の実務対応力向上のため、外部講師（経済法令研究会）による「コーポレートファイナンス研修」を実施	営業店中堅行員および本部行員の約40名
	平成27年2月	本部内で「事例を用いた事業価値の算出」等に関する勉強会を実施	本部行員45名
	平成27年6月～	「事業性評価に基づく融資・コンサルティング等への取り組み」への理解を深めるため、営業店向け勉強会を実施（TV会議システム）	営業店行員

銀行名	横浜銀行
タイトル	地域の活性化を意識した、地元で行われる PFI 事業に対する積極的な関与について
取組み内容	【動機(経緯)】 ・平成 26 年度以降、神奈川県内で行われる PFI は数、規模とも大きく、夫々の事業に対して代表企業に対するビジネスマッチングを含めて積極的に関与している。 【取組内容】 ① 川崎市 P F I 事業 ・平成 26 年 10 月、川崎市は中学校給食の完全実施を目的として PFI 事業（BT0 方式）により学校給食センターの整備を決定。南部、北部、中部の 3 地区に分け、それぞれ総合評価一般入札方式により、給食運営事業者を選定する PFI 事業を展開している。 ・当行は昨年来、入札を検討しているコンソーシアムに対して継続的にアプローチを実施し、事業計画の把握とニーズの聴取を進めたところ、PFI 事業の遂行に必要な地元企業の参加について、上手く連携が図れていない旨の情報を把握。支店・本部が一丸となり、川崎市に在籍する地元企業とのビジネスマッチングを実施しているもの。 ② 横浜市 P F I 事業 ・横浜市中区にあるみなとみらい地区で MICE 施設を横浜市が発注する PFI にて事業化。本件は MICE の整備と同時にホテル事業を必要とするため、ゼネコンとホテル事業者の連携及びマッチングが必要となったもの。 ・当行はホテル運営事業者のゼネコンへの紹介等を通じて本件に積極的に参加。PFI 事業本体への融資以外における、本事業の関係会社向けの取引拡充を目指しているもの。 【成果(効果)】 ・昨今、競合による PFI 事業自体の融資に係るレンダーメリットが低下する中で、PFI 本体以外の関係会社に向けたビジネスマッチングや取引拡充により、PFI 事業を中心とした地域の開発や、地元企業及び当行取引先に対するメリットを与えることが出来ている。その結果、PFI 事業に対する融資取引以外の部分で当行の取引採算も向上させることが可能となっている。

銀行名	横浜銀行
タイトル	環境保全活動
取組み内容	【動機（経緯）】 本取り組みは、地域の環境を保全し、美しい環境を未来に残す活動。 【取り組み内容】 ■ 商品・サービスの提供による環境保全活動 (1) <はまぎん>ソーラーローン 太陽光発電による安全・安心な低炭素社会の実現などをめざし、住宅へのソーラーパネルの普及を支援。 (2) <はまぎん>環境格付融資制度 温暖化対策にかかる設備の導入に際し、環境経営の取り組み状況に応じて、金利の差し引きが受けられるほか、環境省の利子補給事業を利用する場合は、国からの利子補給金を受け取ることができる融資制度。 (3) <はまぎん>マイダイレクトにおける電子交付サービス 紙資源の削減のため、インターネットバンキングにおいて、封書やはがきで郵送している投資信託関連の報告書類などを平成23年度より電子ファイルで交付。加えて平成25年度から紙の通帳を発行しないweb専用の無通帳口座サービスを開始。 (4) 環境経営戦略セミナーの実施 省エネルギーの方策や補助金の活用、設備投資を通じた環境経営の具体例など、環境に配慮した経営戦略構築のためのセミナーを開催。 ■ 環境に配慮した業務体制の構築 (1) 二酸化炭素排出量削減への取り組み 二酸化炭素排出量を減らすための省エネルギー活動や節電等をおこなっています。照明器具では高効率反射板の導入やLED照明への更新、空調機については節電効果の高い新型空調機への更新を実施。また、電力使用状況をモニタリングするオンデマンド監視装置を導入し、ピーク電力の抑制のため随時電力使用量を確認。 (2) 電気自動車の活用 神奈川県電気自動車普及活動に賛同し、平成23年度より本店の営業用車両として電気自動車を活用。二酸化炭素の排出削減に努めるとともに、本店内に設置した充電設備をお客さまに無料開放することで、県内における充電ネットワークの構築に協力。 ■ 寄付やボランティア活動による植栽 (1) 自治体等と連携した緑化活動 横浜市等と協力し、都市部での環境浄化植物の植栽や、森林での木の植樹などを定期的に実施。 (2) 行員による美化活動 営業店などが主体となって地域の海岸や河川の清掃活動などへ参加し、行員がボランティアとして活動。

銀行名	横浜銀行		
タイトル	次世代への取り組み		
取り組み内容	【動機（経緯）】 本取り組みは、地域の将来を担う若い世代に焦点を当て、地域のさらなる活性化と発展をめざす活動。		
	【取り組み内容】		
	■子育てのための環境づくり		
	（１）幼稚園の設備投資への積極的な協力 幼稚園と保育園の機能をあわせ持つ「認定こども園」の普及や待機児童の減少、地域の子育て支援の充実等を目的に、幼稚園の設備投資を積極的に支援。		
	（２）子育てをしながら働く行員への支援 ワークライフバランス支援勤務制度（こどもの養育や家族の介護のための勤務時間短縮制度）や育児休業者向け復職支援カリキュラムを通じて子育てをしながら働く行員を支援。		
	■子どもたちへ「体験する機会」と「発表する機会」の提供		
	（１）経済・金融教育		
	項目	概要	対 象
	職場体験学習等	各学校の要請に基づき、営業店において銀行業務を学ぶプログラムを実施。	小学生～大学生
	子どもアドベンチャー	横浜市教育委員会が夏休みに実施する体験プログラムに毎年参加。本店営業部の見学やお金の大切さを学ぶワークショップを実施。平成19年より継続。	小学生
全国高校生金融経済クイズ選手権(エコノミクス甲子園)	クイズを通して金融経済を学ぶ「エコノミクス甲子園」の神奈川大会を主催。平成20年より継続。	神奈川県内の高校生	
寄附講座	地元大学との産学連携の取り組みとして、横浜銀行グループ社員らが講師となり、金融システムや金融政策、銀行経営などをテーマに特別講義を実施。	大学生	
インターンシップ	学生の職業意識の醸成に協力するため、神奈川県内の大学生を中心とした5日間のプログラムを実施。	大学生	
神奈川産学チャレンジプログラム	神奈川経済同友会が主催する、学生の人材育成を目的とした課題解決型研究コンペへの協力。	大学生	
神奈川県版あしたね	職業学習用ウェブサイトの企画・運営に協力。お取引先などを紹介し、将来の生き方や働き方を考える機会を提供。	小学生～高校生	
おこづかいちょう・ちよきんぱこ	金融教育を目的とした当行オリジナルのノベルティ。口座開設者やCSRイベント参加者に配付。	18歳未満	

(2) スポーツ

項 目	概 要	対 象
横浜銀行カップ 神奈川県学童軟式野球選手権大会	毎年夏に、神奈川県内の各地区大会の優勝・準優勝チームなど42チームが参加する軟式野球大会に冠スポンサーとして応援。平成20年より継続。	小学生
はまぎんサッカー教室	プロの選手らを講師に迎えて、実践的な指導を受けられるサッカー教室。平成19年より継続。	幼稚園～小学生

(3) 文化・芸術

項 目	概 要	対 象
はまぎん こども宇宙科学館	平成20年よりネーミングライツを取得しているほか、宇宙や科学をテーマに、著名人による講演会や工作教室などの冠イベントを開催。平成25年度は開館30周年を記念して、「スペース・シミュレータ」と「階段昇降車」を寄贈。	小学生～中学生
神奈川フィルハーモニー管弦楽団との連携事業	神奈川県唯一のプロオーケストラである神奈川フィルと連携して、未就学児を対象としたオーケストラコンサートや、小学校への出張講演会を開催。	未就学児～小学生
学習用副読本	横浜市立の小中学校で使用する横浜の歴史を学ぶ副読本（合計約6万部）および川崎市立中学校で使用する川崎の科学や技術を学ぶ副読本（約9千部）の発行に協力。	小学生～中学生

銀行名	横浜銀行
タイトル	魅力あふれる地域づくり
取組み内容	【動機（経緯）】 本取り組みは、魅力あふれる地域づくりに貢献する活動。 ■安心して暮らせるまちづくりのために （１）バリアフリーへの取り組み すべてのお客さまがご利用になりやすい店づくりの一環として、「サービス・ケア・アテンダント」の資格取得を勧めており、これまでに約 300 人が資格を取得。また、「筆談器」等のバリアフリーツールを備置。 （２）A E D（自動対外式除細動器） A E Dを国内すべての本支店に設置。管理役職者らが各自治体の消防署等で実施している「普通救命講習」を受講。 （３）「こども 110 番の店」活動 子どもたちを犯罪から守るため、「こども 110 番の店」活動を神奈川県警察本部と実施。こどもが身の危険を感じたときに駆け込んで助けを求めることができる避難場所として、神奈川県内の有人店舗を提供。 ■独自性あふれる地域づくりのために （１）地方創生推進プロジェクトチームの設置 地方公共団体がまとめる「地方版総合戦略」の策定および推進に協力するため、「地方創生推進プロジェクトチーム」を設置。産官学労言と連携し、地域金融機関が持つ情報や知見等を生かして積極的にソリューションを提供。 （２）地域畜産物のブランド力強化 地域畜産物のブランド力を強化するため、お客様の神奈川県産食材の安定調達と新商品の販路開拓に協力し、県産ブランド牛「やまゆり牛」を使用したカレーの開発を支援。 （３）横浜 DeNA ベイスターズとの取り組み 横浜 DeNA ベイスターズが毎年 8 月に開催している夏の一大イベント「YOKOHAMA STAR ☆ NIGHT」に特別協賛をしているほか、勝利数に応じて金利の上乗せや、サイン入りユニフォームが抽選であたる「横浜 DeNA ベイスターズ応援定期」を発売するなどの施策を展開。 （４）地域イベントへの積極的な参加 各支店が「横浜マラソン」などのイベントや地元のお祭りなどにボランティア活動に積極的に参加。 ■女性が活躍できる社会づくりのために （１）女性経営者の活躍を応援 女性の活躍による地域経済活性化を応援するため、グループ会社の浜銀総合研究所では女性経営者ならではの優れた経営手腕等を称える「ビジネスウーマン・アワード」や「女性経営塾」を開催。 （２）働く女性のゆたかな未来づくりを応援 働く女性たちの輝くライフスタイルの実現とゆたかな未来づくりを応援する

	「HAMAKO プロジェクト」に取り組んでいる中で、資産運用などの「知っておきたいお金の話」をお伝えする「ハッピー★マネー塾」などを開催。 (3) 行内の女性活躍への取り組み 企業や社会全体を活性化する大きな力として期待される女性の活躍を推進するため、支店長級に16人の女性を登用し、それに続く管理役職者にも積極的に登用。管理役職者前の女性行員には、自らのキャリアビジョンを明確にするため、活躍する先輩女性行員の講演や出席者同士のディスカッションをおこなう「女性塾」を実施。
--	---

地域の皆さまと横浜銀行を結ぶ情報誌



Bank of Yokohama

Hamagin Report

2015

P1

横浜銀行が取り組むCSRについて
代表取締役頭取 寺澤辰磨

横浜銀行のCSR

P3 環境

美しい環境を未来に残す

P7 こども

地域の未来を担うこどもの育成

P11 地域

魅力あふれる地域づくり

はまペン

57 / 180

横浜銀行

地域の成長とともに企業価値の向上をはかり、 信頼される金融グループとして、活力ある未来の創造を

横浜銀行が取り組むCSRについて

皆さまには、日頃より横浜銀行をお引き立ていただくとともに、温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

この度、横浜銀行のCSR（企業の社会的責任）に対する考え方や取り組みをご紹介するために、本誌「はまぎんレポート」を発刊いたしました。本誌を通じて、横浜銀行に対するご理解をいっそう深めていただければ幸いに存じます。

横浜銀行は、地域経済を支える金融機関として、円滑な資金供給と適正な金融サービスの提供に努め、また、社会的課題を意識した企業行動および地域貢献活動を積極的に推進することにより、社会に貢献し、地域と一体となって発展することをめざしています。横浜銀行のCSRは、この考え方にに基づき、「本業の金融サービスを通じたCSR活動」、「社会的課題を意識した企業内CSR活動」、「ボランティア・寄付協賛等の地域貢献によるCSR活動」の3つの

活動を柱として取り組んでおります。

それぞれの活動の実践にあたっては、特に重点的に対応すべき課題として美しい環境を未来に残すための「環境」、地域の未来を担うこどもを育成するための「こども」、魅力あふれる地域づくりのための「地域」の3つを中心とし、さらに社会情勢の変化に伴う新たな課題についてもステークホルダーの皆さまのご意見を踏まえ積極的に取り組んでおります。

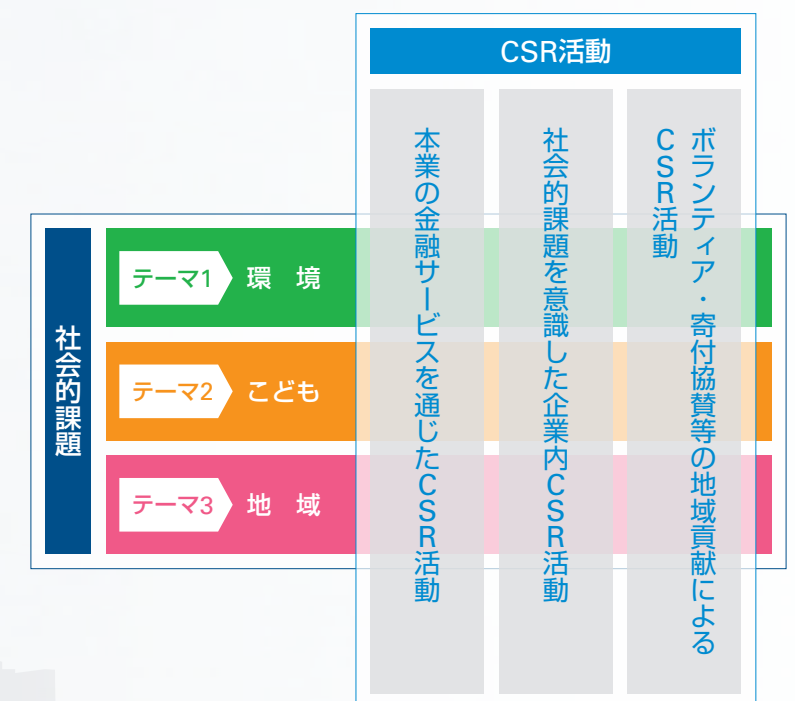
横浜銀行は、地域の成長とともに企業価値の向上をはかり、信頼される金融グループとして、活力ある未来の創造に貢献することをめざしてまいります。引き続きご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2015年6月

代表取締役頭取

寺澤辰磨

横浜銀行のCSR



CONTENTS

Hamagin Report 2015

P1 横浜銀行が取り組むCSRについて 代表取締役頭取 寺澤辰磨

P3 環境 ～美しい環境を未来に残す～
P4 ▶ お客さまの環境に配慮した取り組みを応援するために
P5 ▶ 地球温暖化防止のために
P6 ▶ お客さまの環境保全への思いを形に

P7 こども ～地域の未来を担うこどもの育成～
P8 ▶ 子育てのための環境づくり
P9 ▶ こども達へ「体験する機会」と「発表する機会」を提供するために

P11 地域 ～魅力あふれる地域づくり～
P12 ▶ 安心して暮らせるまちづくりのために
P13 ▶ 独自性あふれる地域づくりのために
P15 ▶ 女性が活躍できる社会づくりのために

P17 はまぎんの自己紹介

環境 Environment

美しい環境を 未来に残す

地域の環境を保全し、美しい環境を未来に残すため、お客さまへの環境配慮型商品の提供や、社会的課題を意識し環境に配慮した業務体制の構築、寄付やボランティア活動による植樹などをおこなっています。従業員一人ひとりが自ら考えて行動する姿勢を大切に、内外の発想やノウハウを積極的に取り入れ、環境の変化を感じる姿勢を常に持ち、新しい取り組みに挑戦していきます。

▶お客さまの環境に配慮した取り組みを応援するために



環境格付融資制度

環境に配慮した経営に取り組む企業を金融面で支援するため、「くはまぎん」環境格付融資制度を取り扱っています。

企業の皆さまの環境に配慮した取り組みを横浜銀行独自のモデルで評価し、評価結果に応じて所定の金利を差し引く融資制度です。「環境格付」が高いほど金利の差し引き幅が大きくなります。

S	環境への取り組みが特に先進的	大
A	環境への取り組みが先進的	金利差し引き幅
B	環境への取り組みが十分	小
⋮		

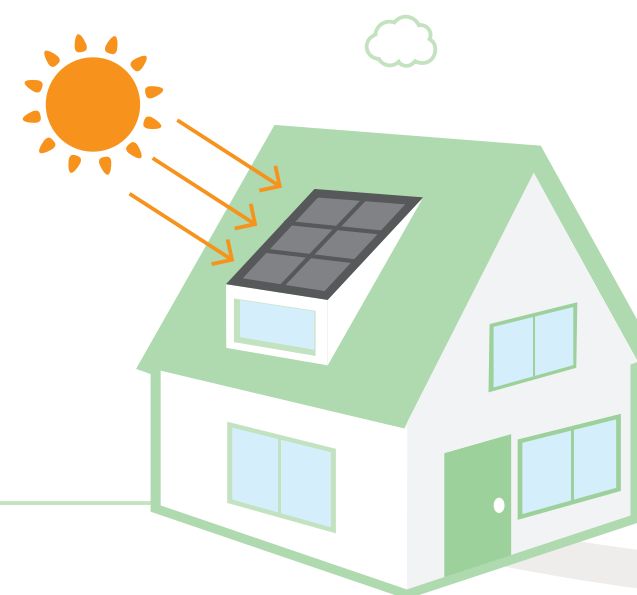


環境経営戦略セミナー

省エネルギーの方策や補助金の活用、設備投資を通じた環境経営の具体例など、環境に配慮した経営戦略構築のためのセミナーを開催しています。



ソーラーローン



安全・安心な低炭素社会の実現をめざして、住宅への太陽光発電設備の設置を支援するため、「ソーラーローン（太陽光発電設備向けリフォームローン）」を取り扱っています。



▶地球温暖化防止のために

CO² 二酸化炭素排出量削減への取り組み

地球温暖化を防止するため、横浜銀行グループ全体で二酸化炭素排出量を減らすための省エネルギー活動や節電等をおこなっています。

取り組み 01 電力使用量の削減

適正な明るさを維持しながら節電に努めるため、照明器具に高効率反射板やLED照明を導入しています。また、電力使用状況をモニタリングするためのデマンド監視システムを導入し、ピーク電力の抑制に努めています。



取り組み 02 充電ネットワークの構築

本店の営業用車両として電気自動車を導入しているほか、本店内に設置した充電設備を無料で開放し、神奈川県内における充電ネットワークの構築に協力しています。



マイスマート通帳へのお切り替えを通じて、エコ活動に参加しませんか？

お客さまの
環境保全への
思いを形に

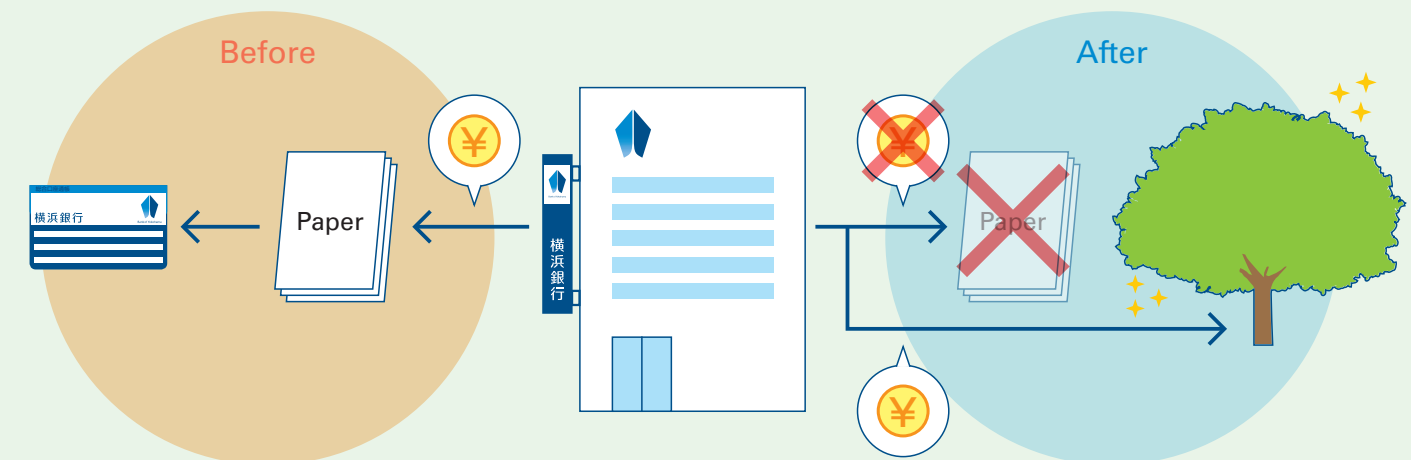
植樹当日の様子はこちら！

<http://www.boy.co.jp/boy/csr/social/eco.html>

インターネットバンキング（〈はまぎん〉マイダイレクト）において、紙の通帳を発行しないweb専用の無通帳口座「マイスマート通帳」サービスを2014年3月から開始し、これまでに約65,000枚※の紙使用量を削減しました。

お客さまの環境に配慮したご選択に賛同し、削減できた紙資源額の一部を用いて、2015年5月10日（日）に「湘南国際村めぐりの森」にて開催された、「第10回湘南国際村めぐりの森 2,000本植樹・育樹祭」にて植樹をおこないました。

※2014年3月から2015年5月までの契約数につき、年間2冊の通帳が削減となった場合を想定しています。



湘南国際村めぐりの森 とは？



めぐりの森は、湘南国際村を舞台に市民、企業、行政が協働して森づくりをおこなっている場所です。苗木の植樹や、自然や動物とのふれあいを体験できます。



<http://megurinomori.net/>

▶子育てのための環境づくり



幼稚園の設備投資への積極的な協力

幼稚園と保育園の機能をあわせ持つ「認定こども園」の普及や待機児童の減少、地域の子育て支援の充実等を目的に、幼稚園の設備投資を積極的に支援することで、こども達の成長を応援しています。



横浜市保土ヶ谷区の認定こども園「峯岡幼稚園」

こども
K i d s

地域の未来を担う こどもの育成

地域の未来を担うこども達を育成し、地域のさらなる活性化と発展をめざすため、安心して子育てできる環境づくりに取り組んでいます。また、銀行の仕事を通して経済の仕組みや銀行の役割を理解することで、経済・金融への興味を育てる「経済・金融教育」、豊かな感性を育てる「文化・芸術」、心身ともにたくましく育てる「スポーツ」などに取り組み、こども達に「体験する機会」と「発表する機会」を提供しています。

子育てをしながら働く行員への支援

ワークライフバランス支援勤務制度

妊娠中や小学校に入学するまでのこどもの養育、家族の介護等をする場合に、個々の状況に合わせて、勤務時間を短縮しています。

育児休業者向け復職支援カリキュラム

産休前、育児休業中、復職直前、復職直後、それぞれの時期で研修やセミナーを実施し、育児休業からのスムーズな職場復帰をサポートしています。

子育てサポート企業として神奈川県労働局長より認定を受け、次世代認定マーク（愛称：くるみん）を取得しています。



育児支援制度一覧

			小学校入学						
			育児中のとき						
			1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳
休暇および休業	妊娠したとき	出産するとき							
	産前・産後休暇	育児休業制度							
	配偶者出産時休暇								
			ワークライフバランス支援休暇制度						
			看護休暇制度						
勤務時間の配慮	母性健康管理上の措置	時間外勤務の免除・制限							
	ワークライフバランス支援勤務制度								
	育児時間								
	ワークライフバランス時差勤務制度								
復職支援	育児休業者向け復職支援カリキュラム								
	ジョブ・リターン制度								
育児施設		託児所・ベビーシッター優待利用制度							

○ 法定の制度
■ 横浜銀行が制定した制度（法定を上回る内容としています）

▶こども達へ「体験する機会」と「発表する機会」を提供するために



経済・金融教育

職場体験の受け入れ

各支店では、地元の小・中学校、高等学校の「職場体験」を受け入れています。店頭や金庫などの見学や、融資をテーマとしたワークショップを通じて、金融の仕組みや銀行の役割について学ぶ機会を提供しています。



エコノミクス甲子園神奈川大会

新聞やニュースをもとにした時事問題や、お金に関するトリビアなど、幅広く「お金」に関する知識が問われる「全国高校生金融経済クイズ選手権エコノミクス甲子園」の神奈川大会を開催し、金融経済を楽しみながら学ぶ機会を提供しています。



はまペン「おこづかいちょう」、「ちょきんばこ」のプレゼント

こども達に健全な金銭感覚や「欲しいものと必要なものの違い」、「目標に向かって努力すること」といった大切なことを身につけてほしいとの気持ちをこめて、横浜銀行のキャラクター「はまペン」の「おこづかいちょう」、「ちょきんばこ」を店頭でプレゼントしています。



スポーツ



女子サッカーを応援

「横浜銀行大和総合グラウンド」を大和市に無償で貸し出し、地域の女子サッカーの振興を応援しています。

文化・芸術

はまぎん こども宇宙科学館 HAMAGIN SPACE SCIENCE CENTER

ネーミングライツ（命名権）を取得している「はまぎん こども宇宙科学館」では、「月面ジャンプ」や「スペース・シミュレータ」など、体感して楽しく遊びながら宇宙や科学の不思議を学ぶことができる展示をご用意しています。

2015年3月には宇宙劇場（プラネタリウム）がリニューアルされ、座席がリクライニングシートとなって、より快適に過ごせるようになったほか、車いすのお客さまを投影の見やすい座席へご案内できるよう、「階段昇降車」を寄贈しました。



はまぎん こども宇宙科学館
〒235-0045 横浜市磯子区洋光台5-2-1
Tel : 045-832-1166



KANAGAWA PHILHARMONIC ORCHESTRA 神奈川フィルハーモニー管弦楽団



ヨコハマ・ポップス・オーケストラ ファミリークラシック

普段はクラシックコンサートに足を運びにくい小さなお子さまのための未就学児向けクラシックコンサートを神奈川フィルハーモニー管弦楽団と連携して、はまぎんホールヴィアマーレにて開催し、約400人を無料でご招待しています。

魅力あふれる 地域づくり

魅力あふれる地域づくりに貢献し、横浜銀行が地域とともに成長するため、安心して暮らすことができ、地域の独自性豊かな、誰もが活躍できる社会の実現に取り組んでいます。

地域 Region



安心して暮らせるまちづくりのために

神奈川県および東京西南部を中心に、国内有人店舗数は205か店（2015年5月末現在）と稠密な店舗ネットワークを構えています。この店舗ネットワークを活かして、誰もが安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。

バリアフリーへの取り組み

すべてのお客さまがご利用になりやすい店舗づくりの一環として、「サービス・ケア・アテンダント」資格の取得を進めており、これまでに約300人が資格を取得しています。

また、「筆談器」「助聴器」「コミュニケー

ション支援ボード」などのバリアフリーツールを備えているほか、音声案内用ハンドセット装備のATMを全ての有人店舗と一部を除いた無人出張所に設置しています。



筆談器



助聴器



コミュニケーション支援ボード



音声案内用
ハンドセット装備ATM



耳マーク表示板



老眼鏡

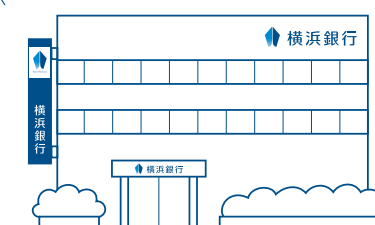


高齢者用椅子



杖ホルダー

すべてのお客さまにやさしい対応を
心がけております。



AED（自動体外式除細動器）の設置

地域の皆さまの万が一の事態に備えるため、AEDを国内すべての本支店に設置しています。緊急時にAEDを迅速かつ適切に使用できるよう、管理役職者らが各自治体の消防署等で実施している「普通救命講習」を受講しています。



「こども110番の店」活動

子ども達を犯罪から守るため、「こども110番の店」活動を神奈川県警察本部と実施しています。こどもが身の危険を感じた時に駆け込んで助けを求めることができる避難場所として、神奈川県内の有人店舗を提供しています。





独自性あふれる地域づくりのために

地方創生推進プロジェクトチームの設置

地方公共団体がまとめる「地方版総合戦略」の策定および推進に協力するため、「地方創生推進プロジェクトチーム」を設置しています。

産官学労言と連携し、地域金融機関が持つ情報や知見等を活かして積極的にソリューションを提供していくことで、地域経済の成長に貢献していきます。

地方創生

地方公共団体

【地方人口ビジョン】

各地域の人口動向や将来人口推計の分析や中長期の将来展望を提示

【地方版総合戦略】

各地域の人口動向や産業実態等を踏まえ、2015-2019年度（5か年）の政策目標・施策を策定

協力
支援

横浜銀行

地方創生推進 プロジェクトチーム

関連会社

本部各部

営業店

地方版総合戦略
策定と推進への協力

地域における
金融機能の高度化

国

【国の長期ビジョン】

2060年に1億人程度の人口を確保する中長期展望を提示

【国の総合戦略】

2015-2019年度（5か年）の政策目標・施策を策定

人的支援

財政支援

情報支援

地域畜産物のブランド力強化へ

～かながわブランド使用商品の開発を支援～

地域畜産物のブランド力を強化するため、お客さまの神奈川県産食材の安定調達と新商品の販路開拓に協力し、県産ブランド牛「やまゆり牛」を使用したカレーの開発を支援しました。



やまゆり牛を使用した株式会社ヤチヨの「よこすか海軍カレー」

横浜DeNAベイスターズとの取り組み

横浜DeNAベイスターズが毎年8月に開催している夏の一大イベント「YOKOHAMA STAR☆NIGHT」に特別協賛しています。

また、勝利数に応じて金利の上乗せや、サイン入りユニフォームが抽選で当たる「横浜DeNAベイスターズ応援定期」を発売するなど、地域の皆さまや地元横浜、神奈川を盛り上げていくさまざまな施策を展開しています。



地域イベントへの積極的な参加

商店街のお祭りなど、地域のイベントやボランティア活動に積極的に参加しています。



くらき祭



湘南ひらつか七夕まつり



横浜マラソン2015

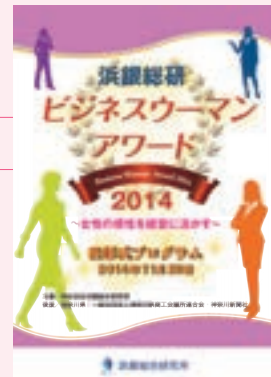
女性が活躍できる 社会づくりのために



女性経営者の活躍を応援

浜銀総研ビジネスウーマン・アワード

女性の活躍による地域経済活性化を応援するため、グループ会社の浜銀総合研究所では女性経営者ならではの優れた経営手腕等を称える「ビジネスウーマン・アワード」や「女性経営塾」を開催しています。



夜間保育事業を通じて長期間にわたり女性の仕事・子育てをサポートしてきた「認定NPO法人あっとほーむ」代表理事 小栗ショウコさんが2014年度の大賞に選ばれました！！



働く女性のゆたかな未来づくりを応援

HAMAKOプロジェクト

「これいいな・楽しそう！」と感じるさまざまなイベントやサービスなどの提供を通して、働く女性たちの輝くライフスタイルの実現とゆたかな未来づくりを応援する「HAMAKOプロジェクト」に取り組んでいます。

資産運用などの「知っておきたいお金の話」をお伝えする「ハッピー★マネー塾」や、谷川真理さんを講師に迎えた「マラソントーク」などをこれまでに開催しています。



行内の取り組み

女性活躍への取り組み

企業や社会全体を活性化する大きな力として期待される女性の活躍を推進するため、支店長級に16人の女性を登用（2015年3月末現在）し、それに続く管理役職者への登用も積極的におこなっています。

管理役職者前の女性行員には、自らのキャリアビジョンを明確にするため、活躍する先輩女性行員の講演や出席者同士のディスカッションをおこなう「女性塾」を実施しています。

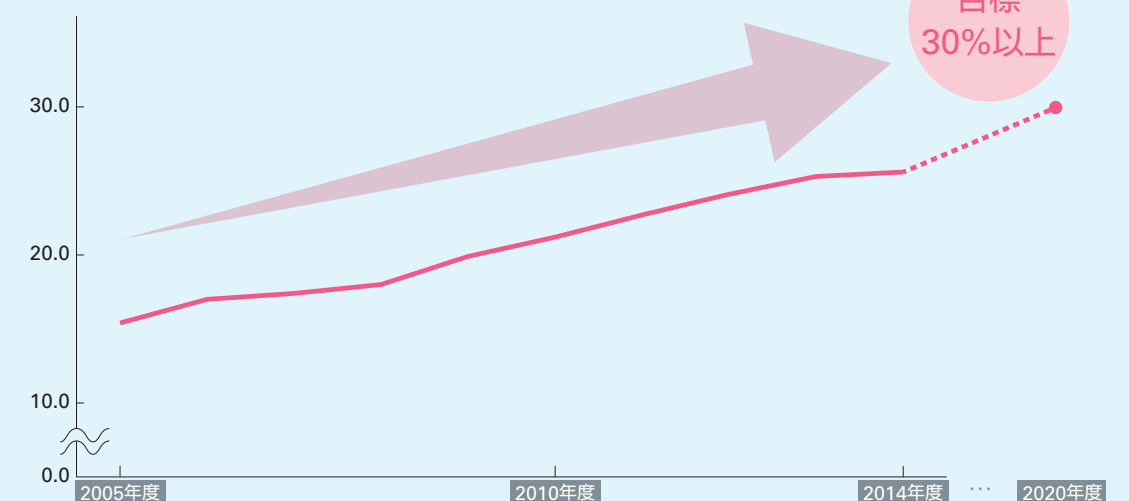
<数値目標>

2020年度末までに

管理役職者に占める女性の割合 **20%以上**

役職者に占める女性の割合 **30%以上**

役職者に占める女性の割合（%）



「やりがい」と「働きがい」の後押しを



人財部
ダイバーシティ&インクルージョン
推進室長
堀田 貴子

「すべての人が各自の持てる力を十分に発揮し組織に貢献できる環境」を整えていきたいとの思いから、横浜銀行は2015年4月1日にダイバーシティ&インクルージョン推進室を新設しました。

女性活躍推進施策の積極的な展開に加えて、男性の育児参画支援や外国人留学生も含めた多様な人財の活躍推進に取り組むことで、行員一人ひとりの「やりがい」と「働きがい」の醸成を後押しします。そして、これまで以上に女性の視点や強みなどを積極的に経営に取り入れることで、高度化・多様化するお客さまのニーズにお応えしていきます。

ダイバーシティ＝多様性

インクルージョン＝さまざまな考え方や多様性を受容すること

はまぎんの自己紹介 (2015年3月31日現在)

会社概要

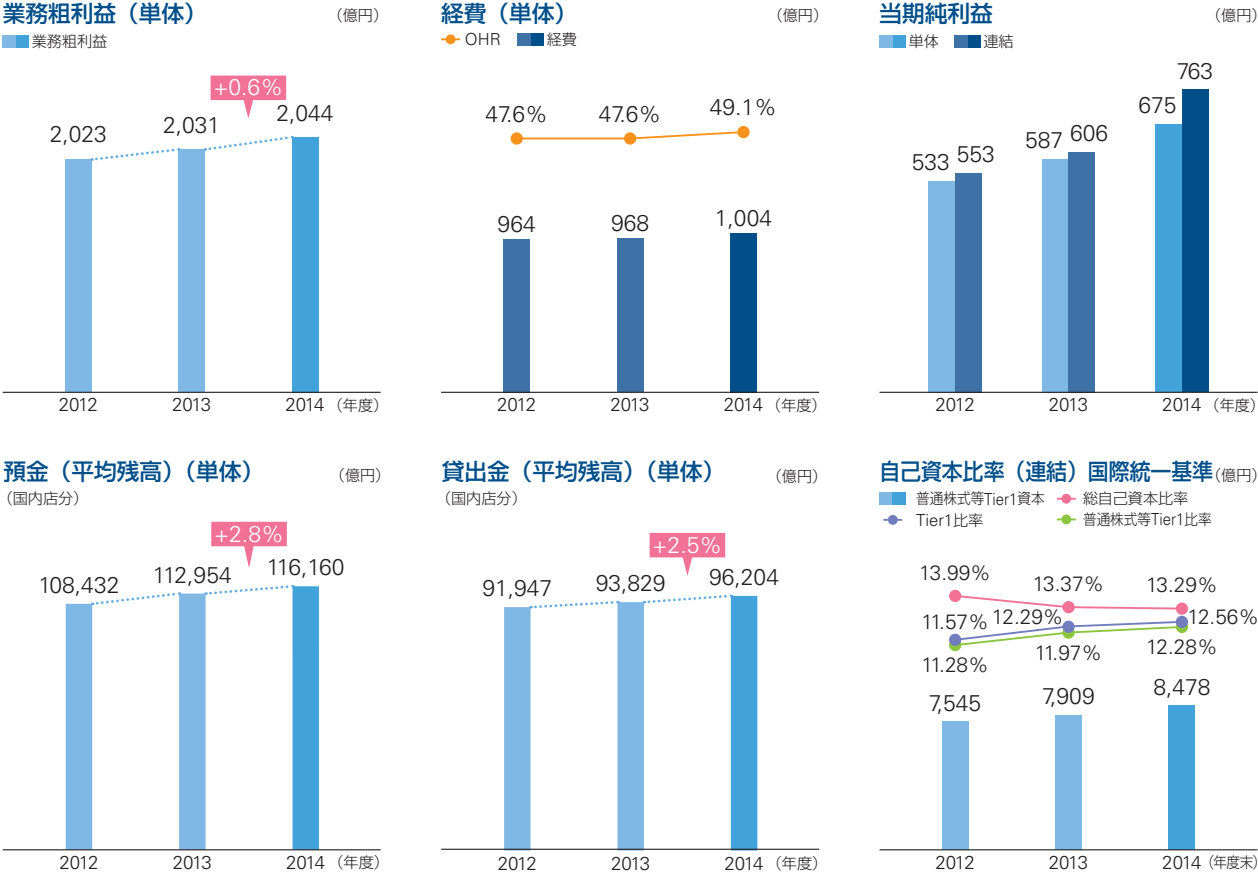
名 称	株式会社 横浜銀行 (英語表記:The Bank of Yokohama,Ltd.)
創 立	1920年12月16日
本店所在地	神奈川県横浜市西区 みなとみらい3丁目1番1号
総資産	15兆2,043億円 (単体) 15兆3,778億円 (連結)
預 金	12兆1,585億円 (単体) 12兆1,214億円 (連結)
貸出金	9兆7,780億円 (単体) 9兆7,240億円 (連結)
資本金	2,156億28百万円
発行済株式総数	1,254,071千株
総自己資本比率	13.29%※ (連結ベース：国際統一基準)
従業員数	4,651人
拠点数	615 [国内] 610 (本支店 196、出張所 8、 無人店舗 (ATMコーナー) 406) [海外] 5 (支店 1、駐在員事務所 4)

※ 速報値

国内グループ会社

- 浜銀TT証券株式会社
- 浜銀ファイナンス株式会社
- 株式会社浜銀総合研究所
- スカイオーシャン・アセットマネジメント株式会社
- 横浜キャピタル株式会社
- 横浜信用保証株式会社
- 横浜キャリアサービス株式会社
- 株式会社はまぎん事務センター
- 横浜事務サービス株式会社
- 浜銀モーゲージサービス株式会社
- 株式会社バンクカードサービス

業績ハイライト



業務粗利益

預金、貸出金、有価証券などの利息収支を示す「資金利益」、各種手数料などの収支を示す「役務取引等利益」、債券などの売買損益を示す「その他業務利益」などの合計で、銀行の基本的な業務の成果を示すものです。

OHR

業務粗利益に対する経費の割合を表し、効率性を示す指標のひとつです。OHRの指数は低いほど効率的であることを示します。

自己資本比率

自己資本比率は、リスクに応じて計算された資産（リスク・アセット）に対する自己資本の割合です。また、自己資本のなかの中核を占めるTier1のうち、最も質の高い普通株式等Tier1のリスク・アセットに対する割合（普通株式等Tier1比率）は、銀行の本質的な健全性を示すものです。

Q A 東日本銀行との経営統合について

2015年9月に経営統合に関する最終合意、2016年4月に持株会社の設立を予定しています。皆さまからお寄せいただいたご質問とその回答をご紹介します。

Q1 横浜銀行の名称はどうなるの？

A1 経営統合後も両行は持株会社の下で存続するため、横浜銀行の名称に変更はありません。

Q2 私の預金の口座番号や支店名はどうなるの？

A2 お客さまにご利用いただいている預金の口座番号や支店名に変更はなく、そのままご利用いただけます。

Q3 個人のお客さまにとってどんなメリットがあるの？

A3 東日本銀行の東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、栃木県にあるATMを、横浜銀行のお客さまが平日昼間に利用した際の手数料をすでに無料にしているほか、経営統合後は都内に新たな店舗を設置するなど、利便性のさらなる向上に取り組めます。

横浜銀行ホームページ「お客さまの声」

「Hamagin Report」をお読みいただき、誠にありがとうございます。横浜銀行のCSRについてご説明させていただきましたが、いかがでしたでしょうか。ご意見、ご感想がありましたら、下記の横浜銀行ホームページから、ぜひお寄せください。

■ お客さまの声

<http://www.boy.co.jp/voice/index.html>

横浜銀行ホームページ



お客さまの声



<ブランドスローガン>

Afresh

あなたに、あたらしく。

“Afresh(アフレッシュ)”は、「あらたに」「再び」「さらに」を意味し、
単にあたらしさをめざすのではなく、今あるものを
「より良いもの」へと高めていく姿勢や動きを示す言葉です。
“あなたに、あたらしく。”を加え、「お客さま一人ひとりに、最適な形で、
あたらしく(Afresh)」の意味を含め、既成概念にとらわれず、お客さまの
思いや願いを実現していきたいという私たちの意志を表しています。



Bank of Yokohama

横浜銀行

2015年6月

発行 横浜銀行 経営企画部広報室

〒220-8611 横浜市西区みなとみらい3-1-1

TEL (045) 225-1111(代表)

インターネットホームページ <http://www.boy.co.jp/>